

※過去数年間の課題でありましたクラブ対抗大会のチームの人数不足及び加入者の取り扱いについて検討重ねてきた結果、現行の方法を一部変更することとなりました。

1	※	【原則及び主な変更点】
	①	地区協会に登録済みのクラブ単位での参加とする。(大会の趣旨に沿うため) 〔同一クラブから複数のチームで参加することは可〕
	②	1チームの編成人数は(6～8名)とする。
	③	「やむを得ぬ事情」により、人数不足となりクラブの単独チームとして編成できない場合でも参加できるように留意する。

2	※	【やむを得ぬ事情】 ※以下の場合を指す
	①	地区協会への登録メンバーが当初より6名に満たない場合。
	②	申込み時において「ケガ・仕事の都合など」でチーム編成に必要な最低人数(6名)に満たなく、人数不足になることが事前に明白である場合。
	③	申し込み終了後、「大会当日」において「上記②の事由」により急遽、メンバーに欠員が生じ、チーム編成に必要な最低人数(6名)が揃わなくなる状態が生じた場合。

3	※	【高校生チームについて】
	全道高校選抜大会への出場権を得たチームが「ケガ・講習など」のやむを得ぬ事情により1・2年生のみでのチーム編成(最低必要人数:6名)ができなくなった場合、自校の3年生をメンバーに加えて出場することは可とする。(1～2名までとする)	

1 出場申込時において (人数不足でクラブの単独チームとして編成できない場合)

①	※ 人数不足のまま単独チームとして出場申し込みをすることも可。
(ア)	「5名編成チーム」で出場申し込みをする。
(イ)	「4名編成チーム」で出場申し込みをする。
※	後述する〔4：人数不足のまま「単独チーム」として出場するチームの取り扱いについて〕の要件を参照すること。
(ウ)	(上記以外は不可とする)

②	※ 他のクラブから選手を加入させて出場申し込みをすることも可。
(ア)	「本大会に出場申し込みをしていないクラブ」からの加入者とする。
(イ)	この場合、大会前日までに「協会登録済みの者」とする。
(ウ)	「本大会に出場申し込みをしていないクラブ」からの加入者については以下の通り。 〔母体となるチーム＝出場するチーム〕
	① 母体となるチームが「5名編成チーム」 → 1名のみの加入者
	② 母体となるチームが「4名編成チーム」 → 1～2名の加入者
	③ 同一クラブから1名又は2名の加入者：可
	④ 異なる2つのクラブから1名ずつ：可
(エ)	加入者は「様式-1：参加申込一覧」の備考欄に「所属しているクラブ名」を明記すること

③	※ 母体となるクラブから複数のチームで出場申し込みをする場合
(ア)	複数チームのうち少なくとも「1チーム」は自クラブの登録済みの選手のみでチーム編成を行うこと（6～8名）。
(イ)	残りのチームにおいて、チーム編成に必要な最低人数（6名）を欠く場合
	① 「上記①」に準じて人数不足のまま「単独チーム」として出場申し込みをする。
	② 「上記②」に準じて他のクラブから加入させて出場申し込みをする。
(ウ)	自クラブ内の他のチームに出場申し込みしている選手を重複させて参加させたり、その他、自クラブ内での選手の貸し借りをすることは禁止する。

例 「自クラブ内の登録者数とチーム編成」

人数	■ 可否について	
4名	<input type="radio"/>	「4名編成」の単独チーム
	<input type="radio"/>	「本大会に出場申し込みしていない他のクラブ」からの加入者：1～2名
5名	<input type="radio"/>	「5名編成」の単独チーム
	<input type="radio"/>	「本大会に出場申し込みしていない他のクラブ」からの加入者：1名のみ
6名	<input type="radio"/>	単独チーム
7名	<input type="radio"/>	単独チーム
8名	<input type="radio"/>	単独チーム
	<input checked="" type="radio"/>	2チームに分割（「4名編成チーム」＋「4名編成チーム」）

9名	<input type="radio"/>	2チームに分割して人数不足の出場（「5名編成チーム」＋「4名編成チーム」）
	<input type="radio"/>	2チームに分割：人数不足を加入者で補って出場〔上記②-（ウ）に準ずる。〕

	※ 複数のチームで出場申し込みをする場合	
10名以上	<input type="radio"/>	少なくとも「1チーム」は自クラブの登録済みの選手のみでチーム編成を行うこと。（6～8名）
	<input type="radio"/>	残りのチームにおいて、チーム編成に必要な最低人数（6名）を欠く場合、人数不足のまま単独チームとして出場申し込みする。〔上記③に準ずる〕
	<input type="radio"/>	残りのチームにおいて、チーム編成に必要な最低人数（6名）を欠く場合、他のクラブから加入させて出場申し込みする。〔上記③に準ずる〕
	<input checked="" type="radio"/>	自クラブ内の他のチームに出場申し込みしている選手を重複させて参加させるなど自クラブ内での選手の貸し借りは禁止する。

2 申し込み終了後、大会当日までにチーム内に欠員が生じ、人数不足なった場合

①	※ 人数不足のまま単独チームとして出場することも可。
	(ア) 「5名編成チーム」として、そのまま出場することは可。
	(イ) 「4名編成チーム」として、そのまま出場することは可。
	※ 後述する「4：人数不足のまま「単独チーム」として出場するチームの取り扱いについて」の要件を参照すること。
	(ウ) (上記以外はオープン参加として取り扱う)

②	※ 選手のエントリー変更を行って出場させることは可とする。
①	大会前日までに「 地区協会：未登録者 」を追加出場させる。
	(ア) 登録先は地区協会に登録済みの既存のクラブとする。
	(イ) 人数不足のため追加登録するチームと同じクラブであること。
	(ウ) 追加登録として登録料を納入すること。
	(エ) 他のクラブとの重複登録は認めない。
②	自クラブ内の「 本大会に出場申し込みをしていない者 」を追加出場させることも可。
	(ア) 地区協会へ登録済みの者であること。
	(イ) 「様式-1：参加申込一覧」に氏名が記載されていない者であること。
③	エントリー変更の人数について
	(ア) 欠員により「5名編成チーム」になった場合 → 1名のみの変更：可
	(イ) 欠員により「4名編成チーム」になった場合 → 1～2名の変更：可
④	禁止事項
	(ア) 同一クラブから複数チームが出場している場合、他チームに出場している選手のエントリー変更及び重複出場は認めない。
	(イ) 「本大会に出場申し込みをしていないクラブ」からの選手のエントリー変更は認めない。
	(ウ) 本大会に出場している他のクラブチームからのエントリー選手の変更及び加入は認めない。(選手の貸し借りの禁止)
⑤	選手のエントリー変更の方法について
	(ア) 大会当日の朝までに、本部席に申し出ること。
	(イ) 競技開始前の「代表者会議」に諮り、認められて場合のみとする。
	(ウ) 申し出のないまま選手のエントリー変更をした場合、チームは失格とする 〔試合は行わない〕

3 大会中に「やむを得ぬ事情」でチーム内に欠員が生じて、チーム編成に必要な最低人数（6名）に満たなくなった場合。

① 【やむを得ぬ事情】
大会中に「不慮のケガ・仕事の都合など」でチーム編成に必要な最低人数（6名）に満たなくなり、人数不足になった場合。

② 【試合方法】

(ア)	予選及び決勝・その他の順位決定戦において「やむを得ぬ」事情により、競技途中から欠員が生じ、必要最低人数（6名）を欠いて「5名編成チーム」及び「4名編成チーム」となる場合には「オーダー用紙の提出前」に速やかに競技委員会に申し出ること。
(イ)	この場合、取り扱いについては競技委員会で検討する。
(ウ)	但し、以降の試合の続行が認められた場合でも、人数不足のままのチーム編成とし、途中からのエントリー選手の変更や他からチームやクラブからの加入は一切認めない。
※	後述する〔4：人数不足のまま「単独チーム」として出場するチームの取り扱いについて〕の要件を参照すること。
(エ)	申し出のない場合は、当該チームの「失格」とし、以降の試合を行わない。又、それ以前の試合結果については抹消する。

4 上記の1～3の要件において、人数不足のまま「単独チーム」として出場するチームの取り扱いについて

① 【オーダーについて】

(ア) 3ペアによる団体戦のうち、「3D」にチーム内の選手の重複出場をみとめる。

例 「5名編成チーム」の場合。(A・B・C・D・E)

1D	A・B
2D	C・D
3D	E+(重複選手)

※A・B・C・D・Eの各選手の出場順は任意による。

「4名編成チーム」の場合。(A・B・C・D)

1D	A・B
2D	C・D
3D	(重複選手)+(重複選手)

※A・B・C・Dの各選手の出場順は任意による。

② 【勝敗について】

① 予選リーグについて

(ア)	上記のオーダーにより「1D-2D-3D」の全ての試合を行う。
(イ)	但し、「3D」は記録上は「負け」の扱いとする。
(ウ)	パソコンによる成績結果では「3D」は「棄権」(負け)として入力される。

② 決勝及びその他の順位決定戦について

(ア)	上記のオーダーにより試合を行う。
(イ)	3ペアによる試合を行うが先に2つのダブルスで先勝したチームを勝ちとする。
(ウ)	従って、先の「1D」・「2D」が終了した段階で(1-1)なった場合、「3D」をすでに「負け」として扱っているので試合を行わない。
(エ)	同時展開で、複数のコートで試合を行っている場合、「3D」をすでに「負け」として扱っているので、先の「1D」「2D」の勝敗結果と合算し、勝敗が決した段階で、進行中のダブルス試合は途中で打ち切る。
(オ)	パソコンによる成績結果では「3D」は「棄権」(負け)として入力される。